

北清協 安全情報 R2-11号

平成 32 年 8 月 8 日
北海道トラック交通共済協同組合
安全推進企画部

子どもの特性を知って危険を予測

子どもたちが楽しみにしている「夏休み」の時期となりましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域により夏休み期間が異なるようです。

子どもの特性を知り、短くなった夏休みを思いっきり楽しもうとする子どもたちを「危険を予測した運転」で優しく見守りましょう。



子どもの特性

- 1つのことに注意が向くと、周囲の状況に注意を払わず行動する。
- 道路の反対側に自分の関心をひくものがあれば、車が接近していても飛び出す。
- 物陰で遊ぶことがあり、身長が低いため発見が遅れることがある。



突然、車道に飛び出すことがある。



道路の反対側に友達等を見つけて次々に飛び出すことがある。



駐車車両の陰から飛び出すことがある。

- ◆ 学校や住宅地、公園付近、通学路など子どもが多い場所では減速しましょう。
- ◆ 子どもを見かけたら、飛び出しを予測して、いつでも停止できる速度で走行しましょう。
- ◆ 駐車車両付近では子どもが隠れている危険を予測しましょう。

